

1年 年間授業時数：140時間

2年 年間授業時数：140時間

3年 年間授業時数：140時間

学習目標

- 1 言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第1学年の目標（何ができるようになるか）

育成する資質・能力	
1 漢字検定4級程度の漢字の読み書きができる。	〔知識・技能〕
2 口語文法の学習や語彙学習を通して、語感を磨き語彙を増やすことができる。	〔知識・技能〕
3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむことができる。	〔知識・技能〕
4 楷書、かな、行書の基礎的な書き方を理解して、毛筆・硬筆で書くことができる。	〔知識・技能〕
5 目的や場面に応じ、聞き手を意識した上で、根拠を明示しながら話したり、話し合ったりすることができる。	〔思考・判断・表現〕
6 目的や意図に応じ、読み手を意識した上で、文章構成や表現技法を工夫しながら書くことができる。	〔思考・判断・表現〕
7 さまざまな文章を読み、的確に内容を理解した上で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。	〔思考・判断・表現〕
8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。	〔知識・技能〕
9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。	〔主体的に学習に取り組む態度〕

第2学年の目標（何ができるようになるか）

育成する資質・能力	
1 漢字検定3級程度の漢字の読み書きができる。	〔知識・技能〕
2 日常生活や周囲の身近な話題について報告や紹介をしたりそれらを聞いたりして質問や助言、対話や討論を行う	〔知識・技能〕
3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむことができる。	〔知識・技能〕
4 楷書・かな・行書の基本を知って、毛・硬筆で書く。	〔知識・技能〕
5 様々な種類の文章を音読・朗読したり、文章と図表等との関連を考えたりしながら、説明や記録の文章を読む。	〔思考・判断・表現〕
6 目的や意図に応じ、読み手を意識した上で、文章構成や論理構成、表現技法を工夫しながら書くことができる。	〔思考・判断・表現〕
7 他者と話し合う中で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。	〔思考・判断・表現〕
8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。	〔知識・技能〕
9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。	〔主体的に学習に取り組む態度〕

第3学年の目標（何ができるようになるか）

育成する資質・能力	
1 漢字検定準2級程度の漢字の読み書きができる。	〔知識・技能〕
2 日常生活や周囲の身近な話題について報告や紹介をしたりそれらを聞いたりして質問や助言、対話や討論を行う	〔知識・技能〕
3 古文・漢文の名歌、名文に触れたり、暗唱したりすることで、古典の世界に親しむことができる。	〔知識・技能〕
4 楷書・かな・行書の基本を知って、毛・硬筆で書く。	
5 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えつつ、考えを広げたり深めたりして自分の意見をもつことができる。	〔思考・判断・表現〕
6 目的や意図に応じ、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	〔思考・判断・表現〕
7 他者と話し合う中で、自分の考えを深めたり、伝え合ったりすることができる。	〔思考・判断・表現〕
8 読書の記録をつけることで、読書の習慣を身に付けることができる。	〔知識・技能〕
9 国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養うことができる。	〔主体的に学習に取り組む態度〕

学習方法（どのように学ぶか）

- 1 本時の目標を理解した上で、教材の内容・テーマについて解説や説明を聞き理解する。
- 2 発問に答えたり、話し合ったりして言語活動を豊かなものにし、学習内容への理解を深める。【対話的な学び】
- 3 理解した内容や必要事項をノート・プリントに記入し、不明な点は質問する。【主体的な学び】
- 4 本時の目標に戻り、学んだ内容を振り返り、整理してまとめる。【深い学び】
- 5 授業の前後に必要なに応じて行われる小テストなどで学習内容を再確認する。

評価の観点・方法

観点① 主体的に学習に取り組む態度	国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり書いたり、読書に親しんだり、言葉に対して粘り強く向き合おうとしている。							
観点② 思考・判断・表現	A.「話すこと・聞くこと」において、自分や相手の考えを大切に、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、話の内容を的確に聞き取ったりする。							
	B.「書くこと」において、必要な材料を収集して自分の考えをまとめ、相手や目的に応じ、叙述の仕方などを工夫して、読みやすく分かりやすい文章を書く。							
	C.「読むこと」において、様々な種類の文章を読み、文章の構成や展開を捉えて内容を的確に理解し、自分のものの見方や考え方に活かす。							
観点③ 知識・技能	ア. 音声、語句、語彙、文法、漢字などの国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し、活かすことができる知識として身に付けている。							
	イ. 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、情報と情報の関係を明確にして話や文章で表現したりしている。							
	ウ. 楷書・仮名・行書の書き方を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書いている。							
評価の方法\観点		①	②A	②B	②C	③ア	③イ	③ウ
授業観察		◎	◎	○	○	○	◎	◎
課題などの提出状況と取り組み		◎	◎	◎	○	○	○	◎
小テスト		○	○	○	◎	◎	○	○
定期考査、課題テスト		○	○	◎	◎	◎	◎	○

学習アドバイス

- ・（自宅）教科書や教材を音読したり、言葉の読み方や意味を調べたり、漢字練習をしたりしておこう。
- ・（授業）黒板に書いてあることを写すだけでなく、先生の話や友達の意見をしっかり聞いて書き込んだり、自分の考えをまとめたりして、自分だけのノートを作り上げよう。
- ・（再び自宅）その日のノートやプリントをもう一度よく見直し、分からないところは翌日質問しよう。

第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語1（光村図書）、中学書写（教育出版）

副教材：しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング、中学国文法、ウィニング国語1、国語便覧

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
(通年)	【知識・技能】（通年） ・漢字検定4級程度の漢字の読み書きに習熟する。 ・口語文法を理解している。 ・楷書、かな、行書の基礎的な書き方を理解して、毛筆・硬筆で書く。 【主体的に取り組む態度】（通年） ・進んで読書をする態度を身につけている。		
1 学 期	【知識・技能】 ・図表を含む文章を読んで、意見と根拠、情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に考えることができる。	文学 西加奈子「シンシュン」 説明 「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 表現 「書店POPを創ろう」 古典 「五十音といろは歌」 「百人一首（一文字決まり）」 言語 「言葉の単位」「文の成分」 「漢字トレーニング4級」 書写 「いろは歌」「百人一首」	
2 学 期	【知識・技能】 ・古文を音読・暗唱し、古典の世界に親しむ。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。 ・科学的な文章を読み、情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ・和歌を絵で表現し感性を培う。	文学 米倉斉加年「大人になれなかった弟たちに…」 表現 「詩の世界」 「文化祭感想文」「私の好きな百人一首」 説明 「比喩で広がる言葉の世界」 「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 古典 「古典の世界」「百人一首（二文字決まり）」 言語 「自立語と付属語」「品詞分類」 「漢字トレーニング4級」 書写 「決意（書き初め）」「百人一首」	
3 学 期	【知識・技能】 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、辞書的な意味と文脈上の意味との関係を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。	文学 ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」 説明 「幻の魚は生きていた」 「『不便』の価値を見つめ直す」 古典 「百人一首（三文字決まり）」 「故事成語」 言語 「体言 名詞」「用言 動詞 動詞の活用」 「漢字トレーニング4級」 書写 「百人一首」 表現 「俳句の創作」	

第2学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語2（光村図書）、中学書写（教育出版）
副教材：しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング、中学国文法、ウィニング国語2、国語便覧

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
(通年)	【知識・技能】 ・漢字検定3級程度の漢字の読み書きに習熟する。 ・原因と結果、意見と根拠などの情報と情報の関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、引用の仕方や出典の示し方を理解し、適切に用いる。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書を生活に役立てる態度を身につける。。		
1 学 期	【知識・技能】 ・言葉について論じられた文章を読み、言葉の働きに関する理解を深める。 ・古典の文章を朗読して、古典の世界に親しむ。 ・単語の活用、助詞・助動詞の働き、文の成分の順序や照応、敬語の働きなどを理解している。 【思考・判断・表現】 ・登場人物の言動や心情に注意して読み、作品に現れているものの見方や考え方について自分の考え方をもつ。 ・複数の情報を整理したり結び付けたりしながら、文章の内容を解釈する。	文学 椎名誠「アイスプラネット」 向田邦子「字のない葉書」 三浦哲郎「盆土産」 評論 大岡信「言葉の力」 池上彰「自分で考える時間をもとう」 表現 「意見文を書く」 古典 「百人一首(二文字決まりその一)」 「古事記」 言語 「用言」「連体詞」「副詞」「接統詞」「感動詞」 「助詞」「助動詞」「敬語」 「漢字トレーニング3級」 書写 「楷書の応用」	
2 学 期	【知識・技能】 ・古典文法における動詞の活用について理解している。 ・訓読のきまりを理解し、訓点にしたがって、訓読文を正しく読み下す。 【思考・判断・表現】 ・根拠となる事例に着目して、筆者の主張や文章の構成、表現の仕方を捉えることができる。 ・場面の展開を捉え、描写や会話から登場人物の人物像を理解するとともに、作品の魅力について語り合う。 ・作者のものの見方・考え方に対して、自分のそれと比較して、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・漢詩に歌われた情景や心情について、読み味わう。	文学 太宰治「走れメロス」 評論 佐藤克文「生物が記録する科学」 安田善憲「モアイは語る」 表現 「研修旅行での短歌の創作」 栗木京子「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」「俳句の創作」 古典 「百人一首(二文字決まりその二)」 「古典文法入門」 「万葉集」 「枕草子」 石川忠久「漢詩の風景」 言語 「漢字トレーニング3級」 書写 「書き初めのポイント」 「南多摩万葉集（研修旅行の短歌）」	
3 学 期	【知識・技能】 ・古典文法における動詞の活用の種類について理解している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 【思考・判断・表現】 ・複数の文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。	文学 菊池寛「形」 評論 布施英利「君は『最後の晩餐』を知っているか」 藤原えみり「『最後の晩餐』の新しさ」 古典 「扇の的一平家物語から」 「徒然草」 「動詞」 「漢文入門」 言語 「漢字トレーニング3級」 書写 「古典の名文(硬筆)枕草子・百人一首」	

第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：国語3（光村図書）、中学書写（教育出版）

副教材：しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング、中学国文法、ウィニング国語3、国語便覧

新高等学校国語総合（明治書院）、新しい古典文法

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
(通年)	【知識・技能】（通年） - 漢字検定準2級程度の漢字の読み書きに習熟する。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 - 情報の信頼性の確かめ方を理解し、適切に用いる。 - 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 読書を通して自己を向上させようとしている。		
1 学 期	【知識・技能】 - 古典文法における動詞や形容詞、形容動詞について理解し、活用の種類や活用形を正しく指摘する。 - 古文において、古今異義語の意味や主語に注意して作品の内容を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 - 複数の文章を比較し、文章にあらわれているものの見方や考え方、文章の構成や論理の展開、表現の効果について評価する。 「現在」と「回想」の部分を読み分け、時間の順序を整理した上で、登場人物の設定を捉えたり、情景や心情を読み深めたりする。	文学 井上ひさし「握手」 論理 山極寿一「作られた『物語』を超えて」 羽生善治「人工知能との未来」 松原仁「人間と人工知能と創造性」 表現 多角的に分析して書こう 古典 「宇治拾遺物語」 「動詞」※1 「形容詞」 「形容動詞」 言語 漢字トレーニング準2級 書写 文字の大きさ・配列・配置に気を付けて書く	※1 「動詞」については、第2学年の既習事項についても取り扱う。
2 学 期	【知識・技能】 - 古典文法における助動詞の「接続」「活用」とは何かを正しく説明でき、一部の助動詞について、接続・活用・意味を理解している。 - 訓読のきまりを理解し、助動詞や助詞、置き字に注意して書き下し文にする。 【思考力・判断力・表現力】 「対比」「主張―具体例」の構造を捉え、論理の展開を捉えて、説明する。 - 日常生活や自分の生活を振り返り、作品に表れている考えが当てはまる体験や伝聞を発表する。	文学 魯迅「故郷」 島崎藤村「初恋」 論理 山崎正和「水の東西」 池内了「マンモスの歩いた道」 表現 説得力のある構成を考えよう 合意形成に向けて話し合おう 古典 「用言の復習」「助動詞」※2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 「漢文入門」※3 「論語」 言語 漢字トレーニング準2級・2級 書写 行書の基本を学ぶ 席書きに向けて	※2 「助動詞」については、主要なものを取り扱う。 ※3 「漢文入門」については、第2学年の既習事項についても取り扱う。
3 学 期	【知識・技能】 - 一部の助動詞について、接続・活用・意味を理解している。 - 再読文字の読みや意味を理解し、書き下し文にした上で正しく現代語訳する。 【思考力・判断力・表現力】 - 論理の展開や要旨を的確に捉えて、評価する。 - 時代背景や筆者の状況を捉えながら作品を読み、国際社会について自分の考えをもつ。 - 故事成語に関する平易な漢文を読み、「寓言」の構造を捉えて、話者の意図を読み取る。	文学 今道友信「温かいスープ」 表現 情報を読み取って文章を書こう 古典 「助動詞の復習」 「奥の細道」 「再読文字」 「故事成語」 言語 漢字トレーニング2級 書写 席書き	